



第 94 卷 総目次

平成 23 (2011) 年

特集「民族」によせて……………吉本道雅…(一)

論説

ラピタ人の起源とオーストロネシア語族の拡散……………石村 智…(一五)

同化と異化……………山崎 岳…(三八)

一九二、三〇年代南アフリカのカラード……………堀内隆行…(七六)

外交の民主化と国際協調主義……………酒井一臣…(一〇六)

宮武正道の「語学道楽」……………黒岩康博…(一二五)

メキシコにおける「先住民」の定義と……………禪野美帆…(一五四)

メキシコ市内旧先住民村落の「地元民」……………禪野美帆…(一五四)

研究動向

チベット語文献『バシエ』研究の最前線……………岩尾一史…(一八六)

書評

永山修 著『隼人と古代日本』……………竹森友子…(二〇一)

S. A. Epstein, *Purity Lost: Transgressing Boundaries*

in the Eastern Mediterranean, 1000-1400……………高田良太…(二〇七)

北川勝彦編著『脱植民地化とイギリス帝国』……………山口育人…(二二三)

【論 説】

国造制と大化改新……………	北 康 宏…二（二三五）
植民地期朝鮮・台湾民族運動の相互連帯に関する一試論……………	小 野 容 照…二（二六九）
靈元天皇の奥と東福門院……………	石 田 俊…三（三七一）
近代朝鮮における中国農民の野菜栽培に関する研究……………	李 正 熙…三（四〇八）
近世上方支配の再編……………	藤 本 仁 文…四（五四一）
前漢武帝の巡幸……………	目 黒 杏 子…四（五七七）
慈善医療の商業化とスキャンダリズム……………	高 林 陽 展…五（六九三）
植民地朝鮮における離婚訴訟と朝鮮民事令……………	吉 川 絢 子…五（七三三）
建国大学における地理学者とその活動……………	柴 田 陽 一…五（七六一）
西晋恵帝期の政治における賈后と詔……………	田 中 一 輝…六（八一七）
近代イギリス官僚制度改革史再考……………	水 田 大 紀…六（八四七）
ルール地方の煙害と森林行政（一九五二—一九六六）……………	岡 内 一 樹…六（八七四）

【研究ノート】

鎌倉期における「悪党」の語義変化……………	根ヶ山 泰 史…二（三〇三）
ハプスブルグ帝国下ボスニアにおけるイスラーム統治の一断面……………	米 岡 大 輔…二（三三三）
平安中期の雑袍勅許……………	佐 藤 早 紀 子…三（四四三）
ビザンツ艦隊をめぐる考察……………	中 谷 功 治…四（六一一）

【研究動向】

都市王権論の現状と展望…………… 榎木謙周…三（四六三）

【史料紹介】

杉浦重剛宛書簡…………… 吉田信也・谷川穰…四（六二九）

【特別寄稿】

読史会創立百周年記念大会講演によせて…………… 勝山清次…三（四八〇）

京都大学読史会の思い出…………… 直木孝次郎…三（四八一）

私の日本近代史研究回顧…………… 松尾尊兌…三（四九三）

【書評】

井上文則著『軍人皇帝時代の研究』…………… 足立広明…二（三四二）

泉雅博著『海と山の近世史』…………… 米家泰作…二（三四九）

上杉和央著『江戸知識人と地図』…………… 小野将…三（五〇二）

古勝隆一著『中国中古の学術』…………… 佐藤達郎…三（五二二）

橋本伸也著『帝国・身分・学校』…………… 上垣豊…三（五一八）

清水芳裕著『古代窯業技術の研究』…………… 山中一郎…三（五二五）

田中悟著『会津という神話』…………… 白川哲夫…四（六五六）

森部豊著『ソグド人の東方活動と東ユーラシア世界の歴史的展開』…………… 石見清裕…四（六六二）

神寶秀夫著『中・近世ドイツ都市の統治構造と変質』…………… 服部良久…四（六六八）

海野一隆著『地図文化史上の広興図』	谷口規矩雄	四(六七六)
渡邊英幸著『古代(中華)観念の形成』	榎山明	五(七九五)
冨永望著『象徴天皇制の形成と定着』	河西秀哉	五(八〇二)
轟木広太郎著『戦うことと裁くこと』	鈴木道也	六(九〇八)
伊藤之雄著『京都の近代と天皇』	吉岡拓	六(九一四)
井上正也著『日中国交正常化の政治史』	鹿雪瑩	六(九一九)

【紹介】

服部良久他編『人文学への接近法』	青谷秀紀	二(三五六)
林陸朗著『奈良朝人物列伝』	西田 紘	三(五三一)
藤井讓治・伊藤之雄編『日本の歴史』	吉野健一	三(五三二)
ベルナル・レミイ著(大清水裕訳)『ディオクレティアヌスと四帝統治』	西村昌洋	三(五三三)
木簡学会編『木簡から古代がみえる』	京藤紀昭	四(六八二)
採掘・製造・流通・往来及び居住に関連する文化的景観の保護に関する調査研究会編		
文化庁文化財部記念物課監修『都市の文化と景観』	上杉和央	四(六八三)
ジュディス・ヘリン著(井上浩一監訳)『ビザンツ』	上柿智生	五(八〇八)
ロビン・オズボン著(佐藤昇訳)『ギリシアの古代』	杉本陽奈子	六(九二六)
藤井讓治編『織豊期主要人物居所集成』	林 晃弘	六(九二七)

【会告】

二〇一〇年度史学研究会大会・総会の記録、講演要旨（杉山正明「マルコ・ポーロの実像」・近藤和彦「モラル・エコノミー論を歴史的に再考する」）	一（二二九）
理事・評議委員会報告	一（二三二）
史学研究会役員	四（六八七）